

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	aile 児童発達支援 エル駒形		
○保護者評価実施期間	2026年2月5日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年2月5日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の経験等を踏まえ、支援を担当制とすることで利用児・家族に対し、より深く寄り添った支援を提供できる。	<ul style="list-style-type: none"> 担当を中心に支援を行うことで利用児・保護者の安心感を育み、気軽に悩みを相談したり、希望を伝えやすい雰囲気づくりをしている。 連絡ノートの活用のほか、送迎時の保護者とのコミュニケーションを大切にしている。 	
2	系列事業所(放課後等デイサービス)があるので、交流や連携により、ライフステージの変化に対応することができる。	児童の長期休み等に定期的な交流の場を設け、異年齢・様々な特性があることも通が楽しく関わられる機会になるようにしている。	
3	こどもの本来、持つ力を引き出せるよう、チームで支援内容を検討している。	<ul style="list-style-type: none"> 保育士目線、福祉職目線で意見のすり合わせをしながら、今その子にとって必要な支援は何かと考えるようにしている。 利用児が自己選択・自己決定できるように見守り、必要なタイミングで知恵や手を貸すようにしている。 	こどもたちの興味・関心を引き出すプログラムの立案を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムの機会が設けられていない。	<ul style="list-style-type: none"> 共働き世帯の増加、当事業所の開所日が平日のみであるなどの理由から実施が難しい。 ペアレントトレーニングを開催するにあたって、開催時の利用児の預かり場所の確保、その間の支援にあたる人材などが不足している。 	保護者が必要とする情報は関係機関と速やかに連携を取り、適宜情報提供・共有する。
2	父母の会の活動の支援、保護者会の開催など保護者同士の交流の機会が設けられていない。	<ul style="list-style-type: none"> 共働き世帯の増加、当事業所の開所日が平日のみであるなどの理由から実施が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児の保護者が保護者同士の交流を望んでいるのか否かをアンケート調査などにより確認する。 家族に関する相談には別途、速やかに対応する。保護者が欲しい情報や必要なサービスが利用できるよう関係機関と連携を取り、情報提供・共有する。
3	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を図れていない。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭・高齢者世帯等、各々の生活スタイルが異なるため、タイミングを合わせる事が難しい。 現在、利用児が少なく開催に至っても盛り上げりに欠けることが想定される 	開催時間やタイミング等を検討しながら、交流の機会を図っていく。また、HPやブログを通じて情報を発信していく。